

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: R 5 年 2 月 20 日

事業所名: こどもプラス谷山教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			設備に関しては適切でない箇所には安全策を講じている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動の目標と評価を取り入れ日々の振り返りに活かしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を職員全員で協議し業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			テーマを決めて内部研修を実施。運動保育士認定の研修も受講。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			田中ビネーやWISCなどの検査ツールを活用し今後の支援計画にいかしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動ごとに担当者が立案し皆で話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日によって重ならないよう運動の活動はローテーションで行っている。静の活動はカード、SST、読み聞かせなど多様化している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学習、運動遊びと静かな活動を実施。曜日で重ならないよう変えている。学校休業日は施設外活動や制作、クッキングを取り入れている。	コロナ禍で集団で行うのが難しい活動もあったが、規模や方法を検討して行った。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングで細かく確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日振り返りを行い活動日誌に記録、全員確認するようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をとる際は他の職員にもできるだけ聞き取りをして偏りがないう心掛けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングの前に職員で話し合い情報を共有し、保護者と話し合って今後の目標や支援内容の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			LAINで週報等をもらうようにしている。	学校での様子が把握できるよう送迎時等の工夫が必要。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		保護者から細かく聞くようにしている。	主治医と連絡を取るような利用者はいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			移行シートを活用している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					現在該当者はいない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			療育センター受診時の資料を支援の重要参考にしている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		施設外活動でイベント等に参加し、他の参加者や利用者と一緒に活動する機会がある。	交流の活動はどのような形でできるか今後検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				コロナ禍でリモートが多かったが、後半は対面での会議もできるようになった。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			その日の様子は連絡帳を用いて、送迎時に伝えるようにしている。LINEの活用で迅速に対応ができ、情報共有がしやすくなった	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		子どもの対応について相談は都度話をさせてもらっている。提案や助言等をしている。	ペアレントトレーニングの研修を充実させる	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にはマーカーペンを用いて分かりやすいように説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子どもの対応について相談があれば都度話をさせてもらっている。提案や助言等をしている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者の方から必要ではないとの意見もあり今後検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアルを作成し迅速に対応できるようにしている。丁寧に話を聞くように努めている。	コロナ対応について保護者から指摘があり直接対面したり電話対応を行っている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動予定表を早めにお渡しするようにしている	
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳を活用している。伝達事項は送迎時に伝えるようにしている。LINEの活用で迅速に対応ができ、情報共有がしやすくなった。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				保護者へは契約時やモニタリングの際にしっかり周知していく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施している。天候で実施できなかった場合は延期して実施した。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し研修も実施している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束について職員で話し合い研修も行っている。	現在該当の児童はいない
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのある子どもには医師の指示書や保護者に確認しおやつを提供をしている	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日振り返りで確認し全員で共有している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)